

投稿規定

本学会雑誌「交通医学」は、隔月年6回発行する。本誌への投稿は以下の規定による。

1. 投稿は会員に限り、重複投稿は認めない。
2. 原則として、原稿は交通医学に関する論文を優先するが、その採否、および掲載順序は編集委員会で決定する。

3. ヒトを対象とした研究は、世界医師総会で採択された「ヘルシンキ宣言」を遵守して行われたものであること、また、動物を扱った研究は総理府告示「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」に基づいた各施設のガイドラインに則って行われたものであることを前提とする。

4. 本会誌に掲載された論文の著作権は、日本交通医学会に属する。

5. 原著は本誌組上がりとして10頁、症例報告は5頁まで(図、表、文献を含む)を無料とし超過分は原則として著者負担とする。(当分の間、超過分は本誌組上がり1頁あたり10,000円とする。)

6. 原著は題名、所属、著者名、要旨、索引用語(5語)、本文、文献、欧文要旨(500語程度、タイプでダブルスペース、和文を添付)の順に記載する。

7. 引用文献は必要最小限にとどめ、本文に引用された順に番号を付け、末尾に一括して、著者名、題名、誌名、巻頁、年(西暦)、の順に記載する。

なお、著者名は3名まで併記、4名以上の時は、他とする。

雑誌…著者名:表題。雑誌名 巻:ページ, 発行年。

欧文雑誌名の省略は Index Medicus によること。

例1) Rieder HL, Cauthen GM, Comstock GW, et al: Epidemiology of tuberculosis in the united states. Epidemiologic Review 11: 79-98, 1989.

例2) 富田真佐子, 山口百子, 渡邊 隆他: 喫煙者と非喫煙者の身体, 血液検査所見の比較. 交通医学 43: 13-18, 1989.

単行本…著者名:書名. 発行所, 発行地, 版, 巻, ページ, 発行年。

例1) Kellner R: Psychosomatic syndrome and somatic symptoms. American Psychiatric Press, Washington DC, 1st ed, 155-163, 1991.

例2) 渡辺義一, 大橋 誠: 海外で健康にくらすための手引き「先進国・途上国への出国準

備から帰国まで」. 近代出版, 東京, 第三版, 93-98, 1988.

再引用… Smith LE: (田中 潔, 上笹 功, 田中 弦他: 自動吻合器による消化管器械吻合の検討—操作中のトラブルと術後合併症—. 交通医学 5・6: 177-186, 1993より引用)

8. 和文の投稿は400字詰め原稿用紙を使用し、明瞭に清書する。學術用語は、日本医学会の所定(医学用語辞典)に従い、難しい漢字をさけ、現代仮名づかいとし、外国語の綴りは英国式または米国式に統一し、英文タイプがブロック体で記入する。

ワープロを使用する場合も上記の論文の長さに合わせてのこと。

原則として投稿は日本語とするが、英語による投稿に当たっては、編集委員会で依頼した専門の翻訳者に査読依頼し、その費用は投稿者の負担とする。

9. 数字は算用数字を使用し、単位は m, cm, g, μ g, ml, l, mg/dl, 37°C などの一般に用いられる記号を使用する。

10. 図表は必要なものを厳選し、黒インクを使用して明確に作成すること。図表の改作は著者の実費負担とする。

図は白黒を原則とするが、カラー印刷を必要とする場合は著者負担とする。

本文中に挿入する場合は挿入箇所を指定する。

説明は表は上に、図、写真の場合は下に付記する。

11. 校正は原則として初校に限り、著者校正とする。

12. 各地方会並びに集談会などの記録を寄稿する場合は、各地方会名、回数、日時、所属、演者名を連記し、1題名毎に前者は400字詰め原稿用紙2枚、後者は1枚以内の抄録を必ず添付する。

13. 各地方会における特別講演を寄稿する場合は400字詰め原稿用紙10枚以内の抄録とする。

14. 執筆者は下記原稿送付先に原稿(図・表を含む)正1部、副2部、計3部を簡易書留にて送付する。

原稿送付先:

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
(財)学会誌刊行センター
交通医学雑誌編集係

15. 別冊は著者の希望により50部単位で作成し、その費用は著者負担とする。なお所要部数を校正原稿の第1頁右肩に朱書すること。